

本日、ここに平成 28 年度学部・大学院学位記授与式を挙げるに当たり、卒業生・修了生並びに御列席の御家族・御友人の皆様に対し心よりお祝いを申し上げます。この春、晴れてこの千葉工業大学を巣立って行かれるのは、学部卒業生 1,982 名、大学院修士課程修了者 215 名、博士の学位を受けられた方 13 名、合計 2,210 名に及びます。

昭和 17 年に創立された千葉工業大学は、昭和 22 年の第 1 回卒業式で初めて卒業生 76 名を送り出しました。以来、東京工業大学に次ぎ日本で 2 番目に長い歴史を有する工業大学として、今年も多数の俊英を世に送り出すことができることは、千葉工業大学で教育を司る者としてこの上ない慶びであります。世界中で国家間・民族間の紛争や自然災害が頻発し、人々がそれらを解決するための新たなビジョンを模索し苦しんでいる状況の中で、多彩で個性に溢れ、時代を変革し新しい社会を生み出す可能性を秘めた皆さんの将来の活躍に私は大きな期待を寄せています。千葉工業大学は今年創立 75 周年を迎えます。このような節目の年に卒業・修了される皆さんにとっても記憶に残ることと思います。

千葉工業大学の創立に当たり、教育学者の小原國芳先生と、その師であり、京都帝国大学総長であり、本学の初代学長になった小西重直先生は、社会情勢に応じて力を発揮し、主義や考え方を強い意志で貫き、学理及び技術に優秀な工業人材を育成すると述べ、教育の理念を標榜しました。そして二人と共に千葉工業大学の創立に尽力した、我が国を代表する哲学者である西田幾多郎先生は、本学の設立趣意書に、広く世界に知識を求める好学心を持ち、日本だけではなくアジアを背負い世界文化に尽力する人物を養成すると書き、建学の趣旨を明らかにしています。先生が掲げた理想は「世界文化に技術で貢献する」という建学の精神として、今日まで脈々と受け継がれてきました。

千葉工業大学の設立趣意書は、「建学の精神」を実現するために、教育によって育成すべき人の姿を具体的に示しています。私は、そこに書かれてあるような人物こそ、グローバルリーダーとして、世界の人々の幸福と世界の平和のために力を発揮する、当時よりもむしろ現代あるいはこれからの時代において、世界の人々が求めている人材だと思って来ました。皆さんの門出にあたりここに紹介しますので、千葉工業大学の理想として、そして私からの贈る言葉として、是非心に刻んで頂ければと思います。

人のために無私無欲に尽力する心、リーダーシップ、国際理解を身に付け、更に、自立し、人間としての徳を備え、自らの能力を十分に発揮できる人になってください。

伝統と進取、尚古と創造、守成と開拓。常に物事の両面を見て平等な世界を打ち建てることのできる人になってください。

知識だけで判断するのではなく、実際に汗を流して体験する実践を重ね、工夫・鍛錬して物事を真に理解する人になってください。

偉人は貧しい家から出る。優秀でありながら貧しいがゆえに教育を受けられない人がおそらく地球上にはたくさんいます。これはその人が生まれた国だけではなく、地球上にある全ての国々にとって非常に残念なことです。持てる力でそのような人を救済できるような人になってください。

裕福な国の人も貧しい国の人も一丸となり、高慢もひがみも、不平も怠惰もなく、勇敢な気力と優秀さ、更に上品な気質をもって、相手の境遇を理解し同情し物事を行う人になってください。

私は、皆さんが、かけがえのない青春の時を千葉工業大学において過ごし、師や友と語らい、共に学び、共に歌い、千葉工業大学の「建学の精神」を身体の隅々まで体得されたことと確信しています。皆さんには、国境を越えて存在する様々な問題を解決するために、千葉工業大学が目指してきた、地球上の全ての人々が、親しみ合い、信じ合い、助けあい、共存し、共栄するという理想を、生涯をかけて実現して頂きたいと思います。

さて、千葉工業大学は 75 年もの歴史を持つ大学ですから、本学には、教職員、学生、卒業生が伝統と実績に基づき築いてきた社会との強力なネットワークがあります。このネットワークには、企業や官公庁、日本の人々、外国の方々など、千葉工業大学以外の人達も数多く参加しています。皆さんは、様々なところで、また様々な場面で、このネットワークの強さを実感することになるでしょう。卒業後も是非このネットワークに積極的に参加して欲しいと思います。8 万人以上の同窓生も日本各地そして世界中で皆さんを待っています。そして、たまには千葉工業大学に帰って来て、元気な顔を見せて下さい。大学はいつでも皆さんを歓迎します。

つねに志高く生きてください。皆さんの未来が豊かで実り多いものであることをお祈りし式辞といたします。

卒業生・修了生の皆さん、おめでとうございます。

平成 29 年 3 月 22 日

千葉工業大学 学長 小宮一仁

於 幕張メッセイベントホール